

政治思想学会 2006 年度
第 13 回研究会プログラム

期日 2006 年 7 月 8 日(土曜日)

会場 九州大学箱崎キャンパス・文系講義棟

福岡市営地下鉄・箱崎線(貝塚方面、箱崎九大前駅下車、3番出口より徒歩7分)

連絡先

812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1 関口研究室(092-642-3195)masashis@law.kyushu-u.ac.jp

時間設定

理事会 11:30-13:00(法学部研究棟 2F、大会議室)

総会 13:00-13:30

セッション A-1、A-2 13:45-15:30

第一報告 13:45-14:15

第二報告 14:15-14:45

休憩 14:45-14:50

質疑応答 14:50-15:30

セッション B-1、B-2 15:45-17:30

第一報告 15:45-16:15

第二報告 16:15-16:45

休憩 16:45-16:50

質疑応答 16:50-17:30

理事会 17:30-18:30(法学部研究棟 2F、大会議室)

| A-1 | | A-2 | |
|--|---------------------|--|----------------------|
| 報告者:報告タイトル | 司会者 | 報告者:報告タイトル | 司会者 |
| 久野真大(熊本大学) ホップズの大学論 井柳美紀(宮城教育大学) 「半ば文明化した、半ば未開の社会」 —— civilisation という語の歴史のなかの デイドロ | 佐藤正志 (早稲田大 学) | 南谷和範(学習院大学・院生) ウォルター・バジヨットにおけるリーダーシ ップの問題 ——その政治家評論を手がかりとして 遠山隆淑(立教大学) ビジネスとしての政治 —— W・バジヨットの政治的リーダーシ ップ論 | 添谷育志 (明治学院大 学) |
| B-1 | | B-2 | |
| 報告者:報告タイトル | 司会者 | 報告者:報告タイトル | 司会者 |
| 胆紅(大阪大学・院生) 1910 年代日本の中国論と『東洋経済新報』 宮地忠彦(立教大学) 「善導」による朝鮮人支配 ——大正期の警察の「内地在留朝鮮 人」政策と理念 | 清水靖久 (九州大 学) | 平石耕(成蹊大学) フェビアン主義と「新」自由主義 ——世紀転換点の英国における「帝 国」問題の諸相 馬原潤二(同志社大学) カッシーラ—哲学の政治思想的—断面 ——「シンボル形式」の哲学の分析を 中心にして | 伊藤洋典 (熊本大学) |

